

高校卒業後のサッカーの続け方、楽しみ方を多角的に徹底特集!!

FREE!

「フットィーズ!」

vol.23

2013
AUTUMN
ISSUE

footballista

footies!

Special Interview

大迫勇也 鹿島アントラーズ

「永遠の負けず嫌い」

特集 高校時代から“未来”と向き合う

卒業後も サッカー続ける?

- 適性診断 自分に合ったサッカーの続け方とは!?
- 大学体育会サッカー部を知る
- 大学サッカー同好会事情 ●専門学校でサッカーを極める
- 大学女子サッカー部の現状／海外留学のススメ

footies!

「フットィーズ スパイク研究室」

FOOTGEAR
CATALOG

AUTUMN
2013

【好評連載】

名波浩の戦術分析室
サッカーの続け方。

GKtechnical

～ゴールキーパー指導書～

特集 高校時代から“未来”と向き合う

卒業後も サッカー続ける?

毎日、日が暮れても汗を流し練習に明け暮れていることだろう。
ふと、未来を見据えたとき、卒業後も
サッカーを続けるかどうかで迷う人も多いはず。
ただ、卒業後も本格的にプレーを続けるだけでなく、
サッカーと関わり合っていく方法はいろいろある。
この特集が君たちの未来へのヒントになればと願う……。

Photo: Takahiro Fujii

footies!

vol.23 2013 AUTUMN ISSUE
CONTENTS

【特集】高校時代から“未来”と向き合う 卒業後もサッカー続ける?

- 4 ➡を巡れば、卒業後の未来が見えてくる!?
「卒業後のサッカーの続け方」適性診断
- 6 「大学体育会サッカー部」で本格的にプレーしてみる?
CLOSE UP 桐蔭横浜大学 / 尚美学園大学
- 8 「大学サッカー同好会」がオススメ!!
全国の大学サッカー同好会が目指す
2つのビッグタイトル
- 9 「専門学校」でスキルを身につけてみる?
CLOSE UP 東京スポーツ・レクリエーション専門学校
- 10 「大学女子サッカー部」で成長していこう!
CLOSE UP 大東文化大学
- 11 「アメリカへ海外留学」に挑戦してみる?
- 12 国内外で多彩な人材を輩出
JAPANサッカーカレッジの育成システム
- 14 選手になるだけがすべてじゃない!!
サッカーの続け方 Vol.05
- 16 SAVAS×footies! Presents
スペシャル対談「女子プレーヤーのための栄養ケア」
なでしこJAPAN・大野 忍×管理栄養士・斎藤圭子
- 17 footies! スパイク研究室
2013 AUTUMN FOOTGEAR CATALOG
- 25 SPECIAL PRESENT
今秋、最注目スパイク5モデルをプレゼント
- 27 GKtechnical ~ゴールキーパー指導書~ SEASON2 / 第4回(最終回)
- 28 SPECIAL INTERVIEW
大迫勇也(鹿島アントラーズ)
「永遠の負けず嫌い」
- 30 NIKE PRO COMBAT その「熱血」は「戦いのパワー」
- 32 名波浩の戦術分析室 Vol.06
PICK UP MATCH
キリンチャレンジカップ2013
「日本代表vsガーナ代表」
- 34 スポマネ通信
- 36 世界のスカウト事情に迫る! / footies! 出演チーム募集
- 37 Present & Information
- 38 F.B.I.—— footies! 捜査局
ラスト5分を走り切れる
——手軽にEPAを摂取できるアイテムを調査せよ!

今号の表紙

鹿島アントラーズの大迫勇也選手。鹿児島城西高校3年生の時に出場した全国高校サッカー選手権大会では大会最多となる10得点をマーク。チームを準優勝に導いたストライカーは、鹿島に加入して5年目を迎え、エースとしての風格を漂わせている。日本代表にも名を連ねるようになった彼は、学生時代にどんな思いでプレーし、プロを目指してきたのか。若きFWの軌跡を追った。

Photo: Takahiro Fujii

→を辿れば、卒業後の
未来が見えてくる!?

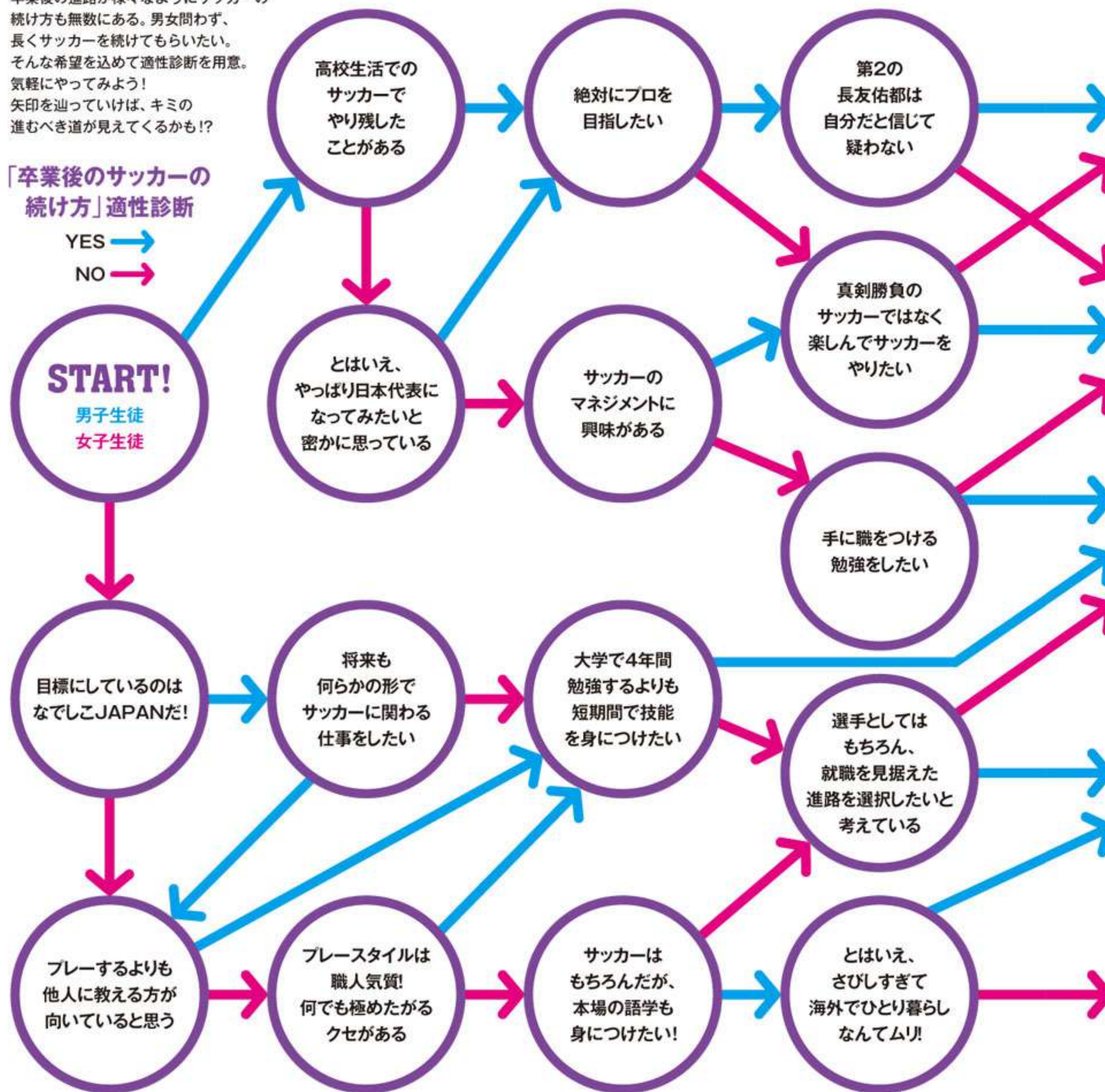
「卒業後のサッカーの 続け方」適性診断

高校卒業後も
サッカー
続ける?

卒業後の進路が様々なようにサッカーの
続け方も無数にある。男女問わず、
長くサッカーを続けてもらいたい。
そんな希望を込めて適性診断を用意。
気軽にやってみよう!
矢印を辿っていけば、キミの
進むべき道が見えてくるかも!?

「卒業後のサッカーの 続け方」適性診断

YES →
NO →



A 「大学体育会サッカー部」で本格的にプレーしてみる?

Aを選んだキミはやはり、卒業後も本格的にサッカーをやりたいという意志が強いのだろう。そんなキミには大学体育会サッカー部がオススメだ。さらにサッカーを極めてプロを目指すのもいいし、サッカーに打ち込み、自信を得るのもいいだろう。た

だし、高校とは異なり、大学はより自主性が求められる。社会人になるための準備期間でもあり、監督やコーチも大人と見なして、自分で考える力や判断力、そしてチームワークを重視する傾向にある。昨今は大学からJリーグへ加入する選手も年々増

えているだけに、4年間で飛躍を遂げれば、プロへの道も開けるかもしれない。

●主な大会：各地域及び各都道府県リーグ/各
地域インディペンデンスリーグ/総理大臣杯全
日本大学サッカー選手権大会/全日本大学サ
ッカー選手権大会(インカレ)など。



P06へ

B 「大学サッカー同好会」がオススメ!

Bを選んだキミは、大学サッカーでも同好会がオススメだ。大学に進学した後もサッカーは続けたい。だが、就職も迫り、他の活動を行いながら、様々な分野での教養を深めたいという好奇心があるならば、同好会がいいだろう。同好会と聞くと、遊び

感覚と思いがちだが、各大学にはレベルに応じた同好会が多数存在する。なかには体育会サッカー部に負けない練習や試合を行うチームもある。自分の趣味や活動の度合いに応じてチームを選べばいい。また、体育会サッカー部とは異なり、練習場の確保

や試合の手配などといった裏方も自分たちで行うことが多いため、それらの経験もその後の人生に大いに生きることだろう。

●主な大会：アットホームカップインディペンデンスリーグ[同好会]/全日本大学同好会サッカー選手権大会など。



P08へ

C 「専門学校」でスキルを身につけてみる?

Cを選んだキミは、自分が興味のある分野において、サッカーに関わってみてはどうだろうか。1つはJAPANサッカーカレッジに代表されるように、専門学校でプロサッカー選手を目指す道。もうひとつは、選手以外にもコーチやトレーナー、審判、

さらにはサッカーシューズの制作など、サッカーに関わる多くの職業を目指すという選択だ。より専門的な分野に進み、その道を究めてサッカーに携わっているのが専門学校の魅力。スポーツ関係の学校のみならず、専門学校の中にはサッカー部を設

けて練習や試合に取り組んでいるところも多く、全国大会も開催されている。技能や知識を身につけながら、プレーヤーとしてサッカーを続けることも可能なのだ。

●主な大会：全国専門学校サッカー選手権大会など



P09へ

D 「大学女子サッカー部」で成長していこう!

Dを選んだキミは、大学女子サッカー部でサッカーを続けてみてはどうだろうか。近年は女子サッカーに力を入れている大学がとて多い。一方で男子と異なり、大学からサッカーを始める人も少なくないため、経験値からくるレベルの差に不安を感じる

人もいるかもしれない。しかし、様々な人たちと交流することで、相手を敬う姿勢や相手のことを考えて行動する意図、自立心など、社会で役立つことをたくさん身につけられるはずだ。レベルの高いリーグ戦で戦っている大学もあるので、どの大学が自

分に合っているのかをじっくり選ぶといいだろう。もちろん、大学を選ぶ際はサッカーだけにこだわらず、何を学びたいのかを優先させることも大切だ。

●主な大会：全日本大学女子サッカー選手権大会(インカレ)など。



P10へ

E 「アメリカへ留学」に挑戦してみる?

Eを選んだキミは、思い切って海を渡ってみたいだろうか。なでしこJAPANのW杯優勝などもあり、日本でも女子サッカー人口は年々増え、環境も整備されてきている。しかし、高校卒業後になでしこリーグのチームに加入できなければ、大学の

女子チームに入るなど、プレーする方法は男子よりも限られているのも実情。そこで新たな可能性を引き出すのが、海外留学だ。アメリカの女子サッカー人気は高く、力を入れている大学も多い。リーグ戦とともに、NWSLに次ぐリーグ戦に出場することも

可能だ。プレーしながら、語学に励み、言葉も習得できるというメリットもある。日本とは異なる環境に身を投じれば、新たな自分の可能性が見えてくるかもしれない。

●主な大会：Wリーグ



P11へ

A を選んだ キミは…… 「大学体育会サッカー部」で本格的にプレー してみる？

大学進学後もサッカーに打ち込み、さらにうまくなりたい。そんなキミにはやはり、大学体育会サッカー部がオススメだ。高校とは異なり、より個々の判断力や意識を求められる環境ではどんな選手が今、求められているのだろうか……。

大学体育会サッカー部が求める人材とは？

桐蔭横浜大学 (関東1部リーグ)



八城修 監督

自由な発想と自立した個人 チームプレーヤーであること

創部してまだ歴史も浅いため、今はチームとして確固たるものを築いている過程です。私としては、個々が自由な発想を持ち、それでいて個々が自立していて、なおかつチームプレーヤーである。これを目指して日々、指導に当たっています。大学に進学してまでも、サッカー部でプレーを続けるからには、みんなにプロサッカー選手になってほしいという思いはありますが、卒業後はプロサッカー選手になるにせよ、就職するにせよ、お金をもらい働く何かしらのプロにならなければいけない。その中で、どこにおいても必要

とされるような人間に、大学4年間で成長してもらえればと思っています。サッカーに一番必要な要素はスキルももちろんですが、やはり判断。指導でも戦術的なことはほとんど言いません。私が抑えつけるのではなく、サッカーは本来、個々の判断の元、自由な発想の上で成り立つスポーツなので、判断力や発想力を伸ばしてもらいたいですね。高校生のうちに取り組んでおいてもらいたいのは、止めて蹴るという基本技術。例えば、フリーの状態ですら10本蹴って10本入らないのであれば、それは技術とは言えず、ただのプレーになってしまいます。それを10本中10本成功できるような、技術と呼べるところまで磨き上げてほしいですね。

居残り練習にしても、やることで満足するのではなく、その内容や質にこだわってほしい。ただ、やるだけと身に付けるのでは大きく異なります。

サッカーを続けるかどうか迷っている高校生がいるとすれば、厳しい意見かもしれませんが、それならばやめればと言ってしまうかもしれません。何となく続けるのであれば、プレーするのも、辞めるのもそれほど変わらないと考えるからです。大学での4年間、心底、サッカーに打ち込み、成長しようと思う選手であれば、それは決して無駄にはならないし、本当に打ち込んだという自信があれば、その後の様々なことに必ず生きてくるはず。サッカーは子どもを大人にし、大人を紳士にするとは、よく言われますが、真剣に取り組んでいれば、私が育てなくても、きっとサッカー自体に育てられるはずだと思っています。大学に進学してまでサッカーを続けるのであれば、サッカーへの情熱、そしてチームへの愛情を持ち、何かをもらうのではなく、自らチームに何かを与えるような意識でプレーしてもらいたいですね。



高校卒業後も
サッカー
続ける？

現役 先輩に 直撃インタビュー!!



桐蔭横浜大学
4年生 GK
島崎恭平さん

大学は高校時代より練習時間が少ない分、自分で考え、練習の質を意識するようになりました。高校の時からプロになりたいとは、口にしていたんですが、大学2年生の時に横浜FCの練習に参加し、プロの選手たちと共に練習させてもらったことで大きな刺激を受け、具体的な目標が変わりました。まだ、チームは決まっていますが、卒業後も絶対にサッカーを続けようと思っています。就活に励んだ同級生も、真剣にサッカーに取り組んだ人は、集中力ややる気が違った。逆に真剣にサッカーに取り組めていなかった人はそれなりの成果しか得られていないように見えます。ただサッカーをやるのではなく、どう向き合い、取り組むのか。それはその後の人生にも大きく影響すると思います。

尚美学園大学 (埼玉1部リーグ)



鍵本勝美 総監督

自分の立ち位置を客観視し 「哲学」を持つことが大事

大学でもサッカーを続けようとする時にポイントとなるのは、高校サッカーで自分が完全燃焼だったのか、不完全燃焼だったのか。高校時代のサッカーは、厳しいトレーニングや合宿・遠征を繰り返してきた人と、エンジョイしながらやってきた人、さらに中途半端で終わってしまった人の、大きく3つに分けることができると思います。その中で、さらに全国区なのか、地方区なのか、地域なのかというキャリアに分かれると思いますが、基本的にサッカーで大事なことは、「哲学」です。それは生徒自身が持つ哲学と、高校ま

での指導者が持つ哲学の、それぞれがありますが、例えば、高校を卒業したらサッカーをやらないと思うのはなぜなのか。それを振り返って考えると、自分自身が高校で完全燃焼できたのか、あるいは不完全燃焼で終わってしまったのかということに戻ってくる。自分はどうしたいのかという、サッカーに対する哲学があれば、大学でもサッカーを続ける意味が出てくると思います。さらに、自分の技量というテクニカルな部分が、大学で通用するのか。自分は大学でもチャレンジに値する選手なのか、トライしたいと思うメンタルを持ち合わせているのかも大切。自分の立ち位置というものを客観視して、目標を見出していくことが大事ですね。

大学を卒業後、社会に出て仕事をすることも、プロを目指すにしても、しっかりと自分自身で良い方向へマネジメントしていく必要があります。そのためには「哲学」は必要です。高校生の時から、そういう哲学を持っている学生は少ないと思いますが、それも悪いことではありません。私は、大学でのサッカーは「人作り」だと思っています。大学に入ってからサッカーを通して人間的に成長し、スポーツを通じてしっかりと目標を達成させることが大事。大学は色々なことを学べる時期ですから、まずは自分が大学サッカーで成功を求めるのか、成長を求めるのかを考えてみるといいかなと思いますね。大学4年間でサッカーをやるメリットは、仲間が増えること、そして相手や自分の悪い部分が見えることです。それを自分で改善できれば、社会に出て役に立つ。人はほんの数カ月で変わることができませんが、サッカーを続けていなければ、変わる機会も巡ってはきません。自分自身で気づくことができれば、不思議と最後はチャンスをつかむことができるものです。

サッカーと真剣に向き合うなら自主性が問われる大学サッカーへ

プロサッカー選手になるという夢を追いかけている人、まだサッカーでやり残したことがあると感じている人は、大学進学後も体育会サッカー部で、自分を追い込み、サッカーを極め、さらなる高みを目指すのがいいだろう。

大学体育会サッカー部の中には、いわゆる推薦などでしか入部できない学校もあるが、中には高校生のうちに練習参加させてくれるサッカー部もある。大学進学後もサッカーを続けようと考えているならば、顧問の先生や監督と相談して、事前に雰囲気を知るのも大事だろう。

また、学校によっては、幅広く選手を受け入れているところもある。近年、大学サッカーも試合経験の場

を増やそうと努力し、大学リーグのほかに、1リーグ(インディペンデンスリーグ)と言われるサテライトリーグのようなものに参加していたり、各都道府県の社会人リーグに参加していたりする大学もある。環境が整備されてきているので、1年生のうちから試合に出場する機会を得られるようになっている。

また、大学は高校以上に個々の自主性が強く求められる。大学は、子どもから大人、学生から社会人へとステップアップする準備ともいえる時期を過ごすだけに、サッカーにおいても、自分で考え、より質を追求していくようになる。サッカーとより真剣に向き合うならば、やはり大学体育会サッカー部がオススメだ。

現役 先輩に 直撃インタビュー!!



尚美学園大学
4年生 GK
桂川 聡さん

体育会サッカー部に入ろうと思ったのは、サッカーが好きだったことと、高校時代に目標を達成できなかったというのが大きかったですね。具体的な目標は変わりますが、大学で目標を達成したいという気持ちがあったので。高校時代に比べ、目に見えて変わったのは環境です。大学は人工芝のグラウンドやトレーニングルーム、シャワーも完備しています。練習時間は1時間半くらいと短いため、最初は物足りなさを感じたこともありました。しかし、足りない部分を自主練で補うのも、休むことも、大学では自己管理なんです。大学で成長したかなと感じるのは、周囲の人を活かせるようになったこと。大学でサッカーを続けるなら、目標や続ける覚悟を持ってやってもらいたいですね。

B を選んだ キミは……「大学サッカー同好会」がオススメ!!

体育会サッカー部はレベルが高すぎる、もっと楽しんでサッカーを続けたい、そんなキミは大学サッカー同好会に入ってプレーを続けてみては？勉強やプライベートの時間を確保しながらサッカーに取り組み、希望するレベルのチームをセレクトできるのも同好会のメリットだ！

レベルや希望に合わせて 自分でセレクトできる

高校生のなかには、「同好会＝遊び感覚」というイメージを持つ人もいるかもしれない。確かに、各大学にはサッカー同好会が複数存在するのが普通で、そのレベルや活動内容も様々。楽しくサッカーをすることが目的のサークルがある一方、競技志向の高いレベルの活動しているサークルもあるのだ。体育会と同好会の大きな違いは、指導者の存在。体育会なら準備されている試合や練習場、宿舎の手配なども、指導者のいない同好会ではすべて学生が自主的に手配しなければならない。何かあれば、自分たちで話し合って解

決していくことも同好会ならではのだろう。特に競技志向の同好会であれば、大会で好成績を収めることを目標としているため、なおさら自分たちで真剣に活動することが大切になる。運営面を手掛けることでマネジメント能力などが身に付くほか、自由な部分が多いのも同好会の特徴。「サッカーは続けたいけど勉強も大変」「サッカー以外のことも大学ではやりたい」「留学したい」などと考えている学生にとって、同好会の自由さは魅力だろう。体育会ではどうしてもサッカー優先の大学生活になりがちだが、「社会人になる前に色々な経験を積んでおきたい」「仲間と楽しくサッカーをやりたい」という人には特にオススメだ。

現 役

同好会プレーヤーに 直撃インタビュー!!



慶應義塾大学理工学部
体育会サッカー部
(同好会)
慶應義塾大学
理工学部3年
上山卓真さん(20歳)

自分たちで一からやる反面 自由度の高さはメリット

慶應義塾大学では、サッカーの同好会だけで10～15チームくらいあって、なかにはフットサルとサッカーを一緒にやるサークルや、遊び感覚で楽しむサークルもあります。自分たちは競技志向のチームなので、メンバーはサッカー経験者がほとんどですね。高校時代は無名だった学

校の出身者もいれば、強豪校で選手権にいた人もいます。活動は週3～4日。火曜か水曜のどちらかに来て練習し、土日は試合や練習をやっています。土日も練習している同好会は少ないかもしれないですね。指導者がいないので、練習場の確保や練習試合の手配など、サッカー以外の部分でやることは多いけど、その反面、自由なことも多いですね。同好会は体育会と違ってサッカーだけではないので、他にやりたいことがあれば、自由に色々できるのも同好会ならではのメリットです。



🏆 全国の大学サッカー同好会が目指す2つのビッグタイトル 🏆

大学同好会カテゴリー唯一の日本サッカー協会公認大会



**アットホームカップ
インディペンデンスリーグ
[同好会] at home アットホームカップ**

本当に力のあるチームが集う同好会カテゴリー最高峰の戦い

「大学同好会」あるいは「サークル」として活動するチームの中には、体育会サッカー部と同じく真剣に練習に取り組み、日々チーム力の向上に努めている「競技志向」の高いチームが数多くある。そんなチームが目指す大会として、同好会カテゴリーには「インディペンデンスリーグ [同好会] (以下、Iリーグ)」という大会が存

在する。Iリーグは、大学同好会のカテゴリーにおいて唯一、日本サッカー協会公認の大会であり、2004年に関東でスタートした。2013年よりアットホーム株式会社が特別協賛企業として加わったため、大会名称も「アットホームカップ2013 インディペンデンスリーグ [同好会]」となり、変革を遂げている。

各大学にはいくつもの同好会チームがあるため、Iリーグに参加できるのは大学内でのNo.1を決める学内戦を勝ち抜いたチームのみ。つまり、その大学の代表として力のある同好会チームだけが出場できる大会であり、大学同好会カテゴリーの最高峰の大会でもある。まさに同好会サッカーの「天皇杯」とも言える大会なのだ。



同好会カテゴリー 真の日本一へ!!

全日本大学同好会 サッカー選手権大会

全国大会

地域予選

(東北・関東・東海・北信越・関西・中国・九州)

各大学学内戦

※インディペンデンスリーグは、関東大会として地域予選に含まれる。

真の同好会日本一を決める長き戦い!

同好会カテゴリーには、より上を目指すための「全国大会」も存在する。全国各地の大学内に複数存在する同好会チームは、Iリーグと同じく、まず大学代表として出場権を得るために学内戦を勝ち上がらなければならない。大学代表となった同好会チームは、さらに地域代表を決める「地域予選」に進む。その地域予選を勝ち抜けば、全国大会への切符を手に入れるという仕組みだ。この大会は、真の同好会カテゴリー日本一を決める戦いとして、2012年よりスタートした。

C を選んだ キミは……「専門学校」でスキルを身につけてみる?

サッカーに関わる形はプレーヤーを続けることだけではない。トレーナーなどのスキルを身につけることで、将来的にもプレーヤー以外の形でサッカーの世界に関わり続けることができる。部活でプレーを続けられるのも専門学校の魅力だ!



サッカーを続けながら 将来のためのスキルを学ぶ

すでに「将来もサッカーにかかわる仕事がしたい」「サッカーの現場で役立つスキルを手に入れたい」という夢を抱いているのなら、専門学校で学ぶ道もオススメだ。専門学校も大学と同じく全国に存在し、学べる内容や得られるスキルも千差万別。例えば、サッカー選手を目指す人に特化した学校や、スタッフとしてトレーナーやコーチなどの技術を身につけるための学校、さらにはスパイク製作に携わるための学校や、ジャーナリストとしてサッカーを伝えるためのスキルを学ぶ学校など、選択肢が数多くある。まずは、具体的

にキミが「将来、何の仕事をしたいのか」「何をやりたいのか」という目標を定め、その目標に合った専門学校を選ぶことが大切になる。

また、部活動としてサッカー部がある学校も多い。東京を例に挙げると東京都専門学校連盟に所属している学校であれば、春・秋・会長杯の年3回の大会に参加。勝ち上がれば全国大会にも出られるので、「社会人になるまではプレーヤーを続けたい」という人にも最適だ。専門学校の魅力は、よりサッカーの現場に近いところで役立つスキルを得られること。学校で学んだことを部活動の現場で活かすこともできるので、社会に出る前により豊富な経験を積むことができる点もメリットだ。

監督

専門学校サッカー部の指導者に 直撃インタビュー!!



東京スポーツ・レクリエーション
専門学校

サッカー部・女子フットサル部 監督
森次智子さん

授業で学んだことを活かし 将来役立つ経験も得られる

本校は学業優先ですが、部活動の環境は整っており、選手としてはもちろん、トレーナーやチームスタッフとしても力を発揮できます。サッカー部の活動はゲーム練習日とフィジカルトレーニング日の週2回で2時間程度。現在は選手34名、トレーナー2名、マネージャー2名で、大会準備も行う場所。日頃の授業で学んでいることを発揮できるので、大きな経験につながると思います。

高校卒業後も サッカー 続ける?



D を選んだ キミは…… 「大学女子サッカー部」で成長していこう!

「サッカーは高校までかな……」と思っているサッカー女子! 早まることなかれ。日本代表の活躍やインターハイでの正式種目化などを受け、今や大学女子サッカー界は徐々に盛り上がりを見せている。初心者から上級者まで、色々な背景を持った選手たちが集まる大学。将来的にも、大学4年間の活動は必ずプラスになるはずだ!

ますます活性化する 大学女子サッカー
 なでしこジャパンの活躍や、女子サッカーのインターハイ正式種目化などもあり、昨今はこれまでに以上で各大学でも、女子サッカーに力を入れている。高校卒業後の女子サッカーの受け皿として大学の重要性は高まってきており、関東では毎年3大学程度、全国でも5大学程度の新規チームが立ち上がるなど、徐々に活性化されてきているというのが現状だ。
 大学女子サッカーにおける最大の目標

は全日本大学女子サッカー選手権(インカレ)。実情としては大学間の力の差や、地域差はあるものの、関東1部リーグを例に挙げれば、各チームの実力は拮抗してきており、日本女子サッカーの強化としての役割を担っている。しかし、男子に比べれば、例えキャリアが短い人でも部活動や試合に出場する垣根は低く、大学から始める選手が多いことも女子サッカーの魅力のひとつ。将来を考えた大学選びをしつつ、大学4年間でもサッカーを続けられれば、得られるものは大きい。

平成25年度 全日本大学女子サッカー連盟加盟校一覧

北海道	札幌大学	北海道	東北	北信越	北陸大学	石川県
	弘前大学	青森県		東海	愛知東邦大学	愛知県
	仙台大学	宮城県			中京大学	愛知県
	尚絅学院大学	宮城県			至学館大学	愛知県
	宮城教育大学	宮城県			中部学院大学	岐阜県
	聖和学園短期大学	宮城県			静岡産業大学	静岡県
	山形大学	山形県			常葉大学	静岡県
	東北公益文化大学	山形県		関西	大阪体育大学	大阪府
	早稲田大学	東京都			大阪国際大学	大阪府
	東京女子体育大学	東京都			大阪教育大学	大阪府
関東	慶應義塾大学	東京都			関西大学	大阪府
	日本女子体育大学	東京都			追手門学院大学	大阪府
	東京学芸大学	東京都			武庫川女子大学	兵庫県
	国士館大学	東京都			姫路獨協大学	兵庫県
	東京外国語大学	東京都			神戸親和女子大学	兵庫県
	十文字学園女子大学	東京都			関西学院大学	兵庫県
	帝京大学	東京都			神戸女子大学	兵庫県
	創価女子短期大学	東京都			兵庫教育大学	兵庫県
	成城大学	東京都			姫路日ノ本短期大学	兵庫県
	神奈川大学	神奈川県		中国	京都教育大学	京都府
北信越	日本体育大学	神奈川県			立命館大学	京都府
	東海大学	神奈川県			京都文教大学	京都府
	武蔵丘短期大学	埼玉県			聖泉大学	滋賀県
	尚美学園大学	埼玉県			びわこ成蹊スポーツ大学	滋賀県
	大東文化大学	埼玉県			奈良教育大学	奈良県
	埼玉大学	埼玉県			和歌山大学	和歌山県
	東京国際大学	埼玉県			吉備国際大学	岡山県
	文教大学	埼玉県			広島大学	広島県
	順天堂大学	千葉県			広島文教女子大学	広島県
	東京情報大学	千葉県		四国	広島女学院大学	広島県
九州	千葉大学	千葉県			徳山大学	山口県
	帝京平成大学	千葉県			環太平洋大学短期大学部	愛媛県
	筑波大学	茨城県			愛媛大学	愛媛県
	茨城大学	茨城県			松山大学	愛媛県
	関東学園大学	群馬県			福岡大学	福岡県
	東洋大学	群馬県			九州共立大学	福岡県
	山梨大学	山梨県			熊本大学	熊本県
	新潟大学	新潟県			熊本学園大学	熊本県
	新潟医療福祉大学	新潟県				
	信州大学	長野県				

監督 大学女子サッカー部の監督に直撃インタビュー!!

初心者も経験者もお互いをリスペクトする気持ちが大事

現在、大東文化大学の女子サッカー部には36人の部員がいます。特待生やスポーツ推薦もなく、サッカー初心者の学生もいる中で、関東の1部や2部リーグという高いレベルでサッカーができています。学生たちの努力はもちろんですが、一定の成果は挙げられているかなと思います。高校で優勝経験のある選手から初心者まで、チームを分けて一緒に練習しているので、リーグ戦やチーム強化の面で難しい部分もあります。しかし、初心者でも気持ちよくサッカーができるように、部員たちがお互いをリスペクトしながら活動ができていますし、全体的に一体感があるところというのは、うちのチームの良いところじゃないかと思っています。

我々は関東の大学リーグをはじめ、埼玉リーグや育成の選手が出場する関東学連のブロックリーグなどにも出場しているので、大学からサッカーを始めた選手でもプレーの機会があります。ただ、授業がある時期の練習は、他の部活とグラウンドを共有しているので朝練がメイン。早起きして、規則正しい生活を送るのは大変ですが、自己管理や自主自立の力は身に付くと思うし、それは社会に出て役に立つものですね。チームの基本理念は「よきチームたる上で 強気チームたれ」。もちろん勝負は大事ですが、社会に出ることを見据え、サッカーを通じて人間的



大東文化大学 女子サッカー部監督 川本竜史さん

E を選んだ キミは…… 「アメリカへ海外留学」に挑戦してみる?

海外へのサッカー留学は男子だけの選択肢ではない。女子にも女子サッカーが盛んなアメリカなど、各国に留学のチャンスはある。語学の勉強はもちろん、日本とは異なる生活で貴重な経験を積みつつ、将来も役立つスキルを身につけられるのも留学のメリットだ。

英語を学びサッカーも続けられる 女子サッカーの本場アメリカへ

サッカーの海外留学と言えば、男子だけのものというイメージが強いかもしれないが、女子でも海外サッカー留学を斡旋するエージェントなどがある。右のインタビューに登場してくれた国沢志乃さんは、今でも言葉のコミュニケーションで難しさを感じているというが、フィジカル中心のサッカーに負けず、語学でもサッカーでも大きな成長を遂げている。また、アメリカへは奨学金をもらって留学でき、日本の大学と比較してもコスト面では決して高いハードルではない。「自分から動き出せば、何事もプラスの方向に行く」ことを留学で学んだという彼女のように、その経験は、きっと大きな成長につながるはずだ。



ロングアイランド大学 (ブルックリン) Northeast Conference (NEC) ディビジョン1 高知県出身 日本航空高校卒 MF 國澤志乃さん

現役 現役の女子留学生に直撃インタビュー!!

私が留学を決めたのは、自分がどこまでやれるのか、女子サッカー世界一の国で挑戦したかったからです。Brilliant (エージェント) 主催の

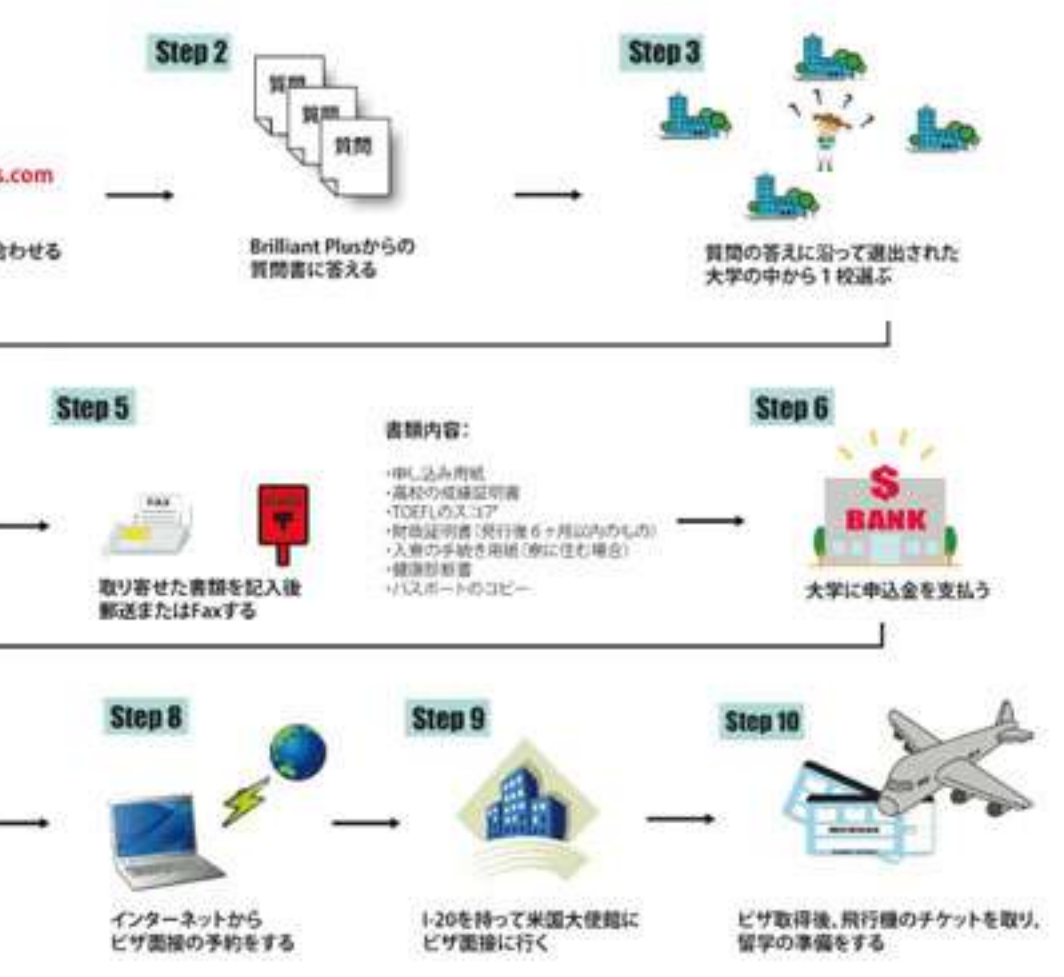


ミシガン州遠征に参加し、そこで大学からオファーをもらいました。ワイオミング州の短大を2年で卒業し、現在はニューヨークの4年制大学に編入してサッカーをしています。アメリカは8~11月がシーズンで、試合は週2回。練習は夕方4時からです。1~4月はオフシーズンですが、ボールを使った練習時間は規定で決められているので、その間はウェイトトレーニングが中心です。留学生活では、毎日新しい発見や出会いがあります。一方で、コミュニケーションの難しさも感じます。3年経った今でも言語面で大変なことはありますが、留学をして改めて、家族やチームメイトなど、色々な人に

アメリカサッカー留学の流れを知ろう!

アメリカ留学の魅力は、活躍の場が多いこと!

女子サッカーの海外留学は、あまり馴染みがないかもしれない。日本の大学卒業後の進路では、なでしこリーグに挑戦するか、もしくは就職するのが一般的だが、進路の選択肢が少ないのが現状だろう。一方、アメリカの大学を卒業することだけではない。世界屈指の実力のアメリカ女子プロサッカーリーグ「NWSL」への挑戦のほか、大学院への進学や、大学で学んだ専門分野の資格を取得するなどして、関連した仕事を日本とアメリカの両方で探することができるなど、可能性は大きく広がる。また、NWSLに次ぐレベルの「Wリーグ」という女子サッカーリーグもあり、大学サッカー部との二重登録が可能。Wリーグや大学で好成績を収めることができれば、NWSLで毎年行われるトライアウトで自分を売り込むこともできる。女子選手にとって、プレーをアピー



アメリカへのサッカー留学の手順例として、海外留学を支援するエージェント「Brilliant Plus」を通しての申し込みをイラストで表したのが上の図。「Step5」のところにあるTOEFLは、英語を母国語としない人の英語力を測る試験であり、留学には欠かせない。そのスコアは、アメリカの大学や大学院へ留学する際に提示が求められるほか、各種留学奨学金制度などの選考基準としても使われる。